

USB 仮想 COM インターフェースの使い方

二次元コードリーダ (FMV-DCR311)

このたびは、弊社の二次元コードリーダ (FMV-DCR311) (以降、本製品) をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本マニュアルでは、本製品を USB 仮想 COM インターフェースで使用する方法を説明します。本マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

マニュアルについて

- 本製品の接続、二次元コードやバーコードの読み取り方について、添付の『取扱説明書』をご覧ください。
- コードメニューについては、インターネット上の『コードメニュー』(<http://www.fmworld.net/biz/fmv/product/hard/ocr/manual/>) をご覧ください。
- 本マニュアルは 600dpi 以上で印刷してご使用ください。

本マニュアルの表記について

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

 重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名稱	本文中の表記	
FMV-DCR311	本製品	
Windows 8.1		
Windows 8.1 Pro	Windows 8.1	
Windows 8.1 Enterprise		
Windows 8		
Windows 8 Pro	Windows 8	
Windows 8 Enterprise		
Windows 7 Enterprise		
Windows 7 Professional	Windows 7	

■ 商標および著作権について

各製品名は、各社の商標、または登録商標です。各製品は各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2014

1 USB 仮想 COM インターフェースについて

本製品は、USB キーボードインターフェースおよび USB 仮想 COM インターフェースをサポートしています。本マニュアルでは USB 仮想 COM インターフェースの使用方法について説明します。

なお、USB キーボードインターフェースで使用する場合は、本マニュアルの操作は必要ありません。

USB キーボードインターフェースとは

USB キーボードインターフェースは、専用のドライバーを必要とせず、読み取ったデータをアプリケーションのカーソル位置に直接入力できます。データ転送速度が遅く、2 キロバイト（全角文字で 1,000 文字程度）を超えるような、データ量の大きい二次元コードはパソコンへのデータ転送に時間がかかります。

USB 仮想 COM インターフェースとは

USB 仮想 COM インターフェースは、専用のドライバーやアプリケーションを必要とします。データ転送速度が速く、データ量の大きい二次元コードでも比較的高速に、パソコンにデータ転送ができます。

2 USB 仮想 COM インターフェースの設定

本製品を USB 仮想 COM インターフェースで使用するには、次の設定が必要になります。

- 「仮想 COM ポートドライバー」と「入力アプリケーション (COM 変換ツール)」を、インターネットからダウンロードします。
富士通製品情報ページ (http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_down.html) からダウンロードしてください。
- 「仮想 COM ポートドライバー」をインストールします。
インストール方法は、「仮想 COM ポートドライバー」のマニュアルをご覧ください。
- 「入力アプリケーション (COM 変換ツール)」をインストールします。
インストール方法は、「入力アプリケーション (COM 変換ツール)」のマニュアルをご覧ください。

4 二次元コードリーダを USB 仮想 COM インターフェースに設定します。

二次元コードリーダをパソコンに接続し、次のコードを読み取ってください。



USB 仮想 COM インターフェース

◆重要

▶ USB キーボードインターフェースから USB 仮想 COM インターフェースへの切り替え、または逆の切り替えを行うと、二次元コードリーダが初期化されます。あわせて、設定値も初期化されます。

POINT

▶ 本製品の接続、二次元コードやバーコードの読み取り方について、添付の『取扱説明書』をご覧ください。

「ピロリピロリピロリ」とブザーが鳴ります。引き続き、「入力アプリケーション (COM 変換ツール)」の設定を行います。

5 次の操作を行います。

・ Windows 8.1 の場合

1. スタート画面左下の をクリックします。
2. 「OptoElectronics」の「WIME」をクリックします。

・ Windows 8 の場合

1. スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「OptoElectronics」の「WIME」をクリックします。

・ Windows 7 の場合

1. 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「OptoElectronics」→「WIME」の順にクリックします。

6 デスクトップ画面右下の通知領域のアイコン (または) を右クリックし、「設定」をクリックします。

7 出力先のアプリケーションに合わせて、「コードページ」から「932:shift_jis」または「65001:utf_8」を選択します。

ご購入時は、「932:shift_jis」に設定されています。

POINT

▶ 漢字（2 バイト文字）が含まれているコードを読み取る場合には「コードページ」の設定の確認が必要です。詳しくは「付録」（→ P.4）をご覧ください。
お使いになる環境によっては他の項目の設定が必要になる場合があります。お使いの環境に合わせて設定してください。

8 「COM ポート選択」から「Opticon USB Code Reader(2D) (COMxx)」を選択します。

xx にはお使いの環境により数字が入ります。

POINT

▶ 本製品を接続するパソコンの接続先 USB ポートを変更した場合や、COM ポートを利用する他のドライバーをインストールした場合は、COM ポートの番号が変わります。デスクトップ画面右下の通知領域のアイコンが になっている場合は、再度「COM ポート選択」を設定する必要があります。

9 「決定」をクリックします。

デスクトップ画面の通知領域のアイコンが になります。

10 デスクトップ画面右下の通知領域のアイコンが の場合には、 をクリックし、 にします。

◆重要

▶ パソコンを起動または再起動した場合は、手順 10 の操作が必要になります。

POINT

▶ 「入力アプリケーション (COM 変換ツール)」の設定画面で「自動接続」を有効に設定すると、パソコンを起動後または再起動後に手順 10 の操作を行わず、自動的に使える状態になります。

以上で設定は完了です。コードを入力したいアプリケーションを起動し、入力する箇所（フィールド）にカーソル（|）が表示された状態で、二次元コードリーダでコードを読み取ってください。

3 USB キーボードインターフェースの設定に戻す

USB 仮想 COM インターフェースの設定後、USB キーボードインターフェースの設定に戻すには、次のコードを読み取ってください。



USB キーボードインターフェース

4 USB 仮想 COM インターフェースの設定を初期化する

USB 仮想 COM インターフェースの使用時に、設定を初期化する（ご購入時の設定に戻す）には、次のコードを上から順番に読み取ってください。



- ▶ USB 仮想 COM インターフェースの設定後、「コードメニュー」の「QR コードメニュー」－「初期化」－「ご購入時（出荷時）の設定」のバーコードを読み取っても、二次元コードリーダの設定は初期化できません。次のコードを上から順番に読み込んで初期化してください。



設定開始



ご購入時（出荷時）設定に戻す



設定終了

5 困ったときには

コードの読み取りができない、コードのデータが正しくパソコンに表示されない、漢字の出力ができない、文字化けするなど二次元コードリーダがうまく動かない場合は、添付の『取扱説明書』の「困ったときには」も合わせてご覧ください。

文字が表示されずしばらくして「ピピピッ」とブザーが鳴る

確認事項	処置
「仮想 COM ポートドライバー」がインストールされていますか。	「USB 仮想 COM インターフェースの設定」の手順 2 (→ P.1) をご覧ください。
「入力アプリケーション (COM 変換ツール)」がインストールされていますか。	「USB 仮想 COM インターフェースの設定」の手順 3 (→ P.1) をご覧ください。
「入力アプリケーション (COM 変換ツール)」の設定画面の「COM ポート選択」が正しく設定されていますか。	「USB 仮想 COM インターフェースの設定」の手順 5 ~手順 9 (→ P.2) をご覧ください。

パソコンを再起動後に文字が表示されずしばらくして「ピピピッ」とブザーが鳴る

確認事項	処置
デスクトップ画面右下の通知領域に が表示されていますか。	「USB 仮想 COM インターフェースの設定」の手順 5 ~手順 10 (→ P.2) をご覧ください。
「入力アプリケーション (COM 変換ツール)」の設定画面の「COM ポート選択」が正しく設定されていますか。	「USB 仮想 COM インターフェースの設定」の手順 5 ~手順 10 (→ P.2) をご覧ください。パソコンを再起動後に、自動接続するには手順 10 の POINT (→ P.2) をご覧ください。

通知領域の 「灰色アイコン」をクリックしても 「紫色アイコン」にならない

確認事項	処置
「仮想 COM ポートドライバー」がインストールされていますか。	「USB 仮想 COM インターフェースの設定」の手順 2 (→ P.1) をご覧ください。
二次元コードリーダが USB 仮想 COM インターフェースに設定されていますか。	「USB 仮想 COM インターフェースの設定」の手順 4 (→ P.2) をご覧ください。
「入力アプリケーション (COM 変換ツール)」の設定画面の「COM ポート選択」が正しく設定されていますか。	「USB 仮想 COM インターフェースの設定」の手順 5 ~手順 9 (→ P.2) をご覧ください。

「入力アプリケーション (COM 変換ツール)」の設定画面の「COM ポート選択」に「Opticon USB Code Reader(2D) (COMxx)」が表示されず選択できない

確認事項	処置
「仮想 COM ポートドライバー」がインストールされていますか。	「USB 仮想 COM インターフェースの設定」の手順 2 (→ P.1) をご覧ください。
二次元コードリーダが USB 仮想 COM インターフェースに設定されていますか。	「USB 仮想 COM インターフェースの設定」の手順 4 (→ P.2) をご覧ください。

漢字が出力できない／文字化けする

確認事項	処置
二次元コードリーダが USB 仮想 COM インターフェースに設定されていますか。	「USB 仮想 COM インターフェースの設定」の手順 4 (→ P.2) をご覧ください。
「入力アプリケーション (COM 変換ツール)」の設定画面の「コードページ」が正しく設定されていますか。	「付録」(→ P.4) をご覧ください。
コード入力先のアプリケーションは読み取るコードの文字コードに対応していますか。	「付録」(→ P.4) をご覧ください。

USB キーボードインターフェースで使用時に文字が表示されずしばらくして「ピピピッ」とブザーが鳴る

確認事項	処置
二次元コードリーダが USB キーボードインターフェースに設定されていますか。	「USB キーボードインターフェースの設定に戻す」(→ P.3) をご覧ください。

6 付録

漢字（2 バイト文字）が含まれているコードを転送する場合、読み取るコードと「入力アプリケーション (COM 変換ツール)」のコードページを合わせる必要があります。両方が一致していないとコードが正しく読み取れません。

また、コード入力先のアプリケーションは、読み取るコードの文字コードに対応している必要があります。対応していないとコードが正しく読み取れません。

読み取るコードに合わせて「入力アプリケーション (COM 変換ツール)」のコードページを、「Shift-JIS」または「UTF-8」に設定します。設定方法は、「USB 仮想 COM インターフェースの設定」の手順 5 ~手順 6 (→ P.2) をご覧になり設定画面を表示させ、「コードページ」から「Shift-JIS」または「UTF-8」を選択してください。

読み取るコードが「Shift-JIS」または「UTF-8」のどちらかわからない場合には、「入力アプリケーション (COM 変換ツール)」の「コードページ」を「Shift-JIS」、「UTF-8」の順に設定し、正しく読み取れるコードページに設定してください。

コード入力先のアプリケーションが対応する文字コードが「Shift-JIS」または「UTF-8」のいずれかわからない場合、次の方法で確認することができます。

■「Shift-JIS」に対応しているか確認する場合

1 「入力アプリケーション（COM 変換ツール）」の「コードページ」を「Shift-JIS」に設定します。

2 二次元コードリーダで次の QR コードを読み取ります。

この QR コードの文字コードは「Shift-JIS」です。



Shift-JIS

「Shift-JIS」の QR コードから正常に「あいうえお」と表示されれば、コード入力先のアプリケーションは「Shift-JIS」に対応しています。

■「UTF-8」に対応しているか確認する場合

1 「入力アプリケーション（COM 変換ツール）」の「コードページ」を「UTF-8」に設定します。

2 二次元コードリーダで次の QR コードを読み取ります。

この QR コードの文字コードは「UTF-8」です。



UTF-8

「UTF-8」の QR コードから正常に「あいうえお」と表示されれば、コード入力先のアプリケーションは「UTF-8」に対応しています。

二次元コードリーダ（FMV-DCR311） USB 仮想 COM インターフェースの使い方

B6FY-2661-01 Z0-00

発行日 2014 年 6 月
発行責任 富士通株式会社

〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。